

2025 年 7 月 15 日

各 位



会 社 名 J C R フ ァ ー マ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦 田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 伊 藤 洋
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

J-Brain Cargo®技術プラットフォームを活用したアルツハイマー病治療薬 開発に関するアキュメン社との提携のお知らせ

J C R ファーマ株式会社（代表取締役会長兼社長：芦田 信）は、本日 Acumen Pharmaceuticals, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州、以下、アキュメン社）とアルツハイマー病の病理学的要因であるアミロイドベータオリゴマー（以下、AβO）を標的とする新たな血液脳関門通過型治療薬の開発を目指して、当社独自の J-Brain Cargo®（以下、JBC）技術に関するライセンスのオプション契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約は、当社の JBC 技術とアキュメン社の AβO 選択的抗体 sabirnetug を組み合わせた血液脳関門通過型アルツハイマー病治療薬を開発することを目的としています。sabirnetug は、アルツハイマー病の発症と進行の主要な病理学的要因である毒性のある可溶性 AβO を標的とします。このプログラムは、JBC 技術が血液脳関門を越えて sabirnetug および他の AβO 選択的抗体を輸送し、アルツハイマー病の進行を遅らせる可能性を実証することを目的としています。

本契約に基づき、アキュメン社は、最大 2 つまでの JBC 技術を適用させた同社のアルツハイマー病治療薬候補に対して、全世界での開発、製造、販売に関する独占的オプション権を保有します。

本契約により、当社はアキュメン社から契約一時金を受領するほか、アキュメン社によるオプション権行使後には、開発マイルストーンフィーとして最大 40 百万米ドル、販売マイルストーンフィーとして最大 515 百万米ドル、合計で最大 555 百万米ドル（約 805 億円、1 ドル 145 円換算）、加えて、販売後は正味売上高に応じた段階的ロイヤルティを受領する権利を有します。

当社の代表取締役会長兼社長の芦田 信は、次のように述べています。

「アルツハイマー病は医学における最大の未解決課題の一つであり、アキュメン社との協業は、この課題に取り組む当社にとって重要なマイルストーンです。当社の JBC 技術とアキュメン社の革新的な AβO 選択的抗体を組み合わせることで、神経変性疾患において進展が限られていた安全かつ効果的な脳へのバイオ医薬品の送達という課題を克服すること

を目指しています。この提携によって、アルツハイマー病における有望なアプローチが推進されるだけでなく、中枢神経系医薬品の開発において JBC 技術が臨床的に検証された拡張可能なプラットフォームとしてより評価されることを期待しています。」

アキュメン社の CEO の Daniel O'Connell は、次のように述べています。

「毒性のあるアミロイドベータを標的とすることでアルツハイマー病の経過を有意義に変える、そのような信念をもって当社は設立されました。J C R ファーマとの協業によって、脳に治療薬を直接届けるための強力な新規アプローチに挑むことができます。当社の AβO 選択的抗体の技術と J C R ファーマの JBC プラットフォーム技術を組み合わせることで、アルツハイマー病に罹患する患者さんの治療にパラダイムシフトを起こす可能性のある治療薬の開発を推進できると考えます。」

なお、本件に関する今期（2026 年 3 月期）の当社連結業績への影響は、連結業績予想に織り込み済みです。

J-Brain Cargo®技術について

当社が独自に開発した血液脳関門通過技術であり、中枢神経系にバイオ医薬品を送達することを可能とする。本技術を世界で初めて適用した医薬品として、ムコ多糖症 II 型治療剤「イズカーゴ®」（国際一般名：pabinafusp alfa）が日本で実用化されている。

アルツハイマー病について

アルツハイマー病は、世界中で 5,000 万人以上の人々に影響を及ぼす進行性の神経変性疾患であり、認知症の主要な原因の一つである。その病理学的特徴の一つは、脳内のアミロイドベータの蓄積であり、これが神経細胞の損傷、認知機能の低下、記憶喪失を引き起こす一連の反応を引き起こすと考えられている。血液脳関門を越えて生物学的製剤を投与することは、この疾患を効果的に治療するための課題となっている¹。

参考文献

1: Sadigh-Eteghad S, Sabermarouf B, Majdi A, Talebi M, Farhoudi M, Mahmoudi J. Amyloid-beta: a crucial factor in Alzheimer's disease. Med Princ Pract. 2015;24(1):1-10. www.doi.org/10.1159/000369101.

ニュースリリースは株主・投資家の皆さまや報道関係者へ、当社の事業に関する最新情報の提供を目的としたものです。本資料に含まれている医薬品（開発中の物を含む）に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。

以 上